

三菱美唄炭鉱堅坑櫓 / 美唄市



～鮮やかな紅色が映える堅坑～

道内では2番目に古いリベット打ちの中型堅坑で、九州地区では多く見られる櫓です。櫓の高さは20mあり鮮やかな紅色は堅坑が建てられた当初の色と言われております。

美唄ダム側の堅坑は上風坑と呼ばれ、主に坑内からの排気や人員搬入などに使われておりました。また、市街地側の堅坑は下風坑と呼ばれ、坑内への入気や石炭・資材・ズリの搬出に使用されておりました。

1918（大正7）年には57万トンの出炭を記録し、夕張炭鉱に次ぐ石狩炭田第二の炭鉱に成長しました。また、1944（昭和19）年には戦前最高の189万トン記録しましたが、エネルギー革命の影響で1972（昭和47）年に閉山しました。

閉山後は、堅坑の他安田侃氏の彫刻を展示した炭鉱メモリアル森林公園として利用されております。

| | |
|------------------|---|
| 住所 | 美唄市東美唄町一ノ沢 |
| 公開状況 | 公開中（冬期間は除雪がされていないため見学不可） |
| アクセス （自動車） | 札幌から約61km 約47分 【道央自動車道 美唄IC降 約15分】 |
| アクセス （公共交通機関） | 公共交通機関がないため自動車のみのアクセス |
| 問い合わせ | 美唄市都市整備部都市整備課 電話：0126-62-3131 |
| URL | http://www.city.bibai.hokkaido.jp/jyumin/docs/2019052000027/ |